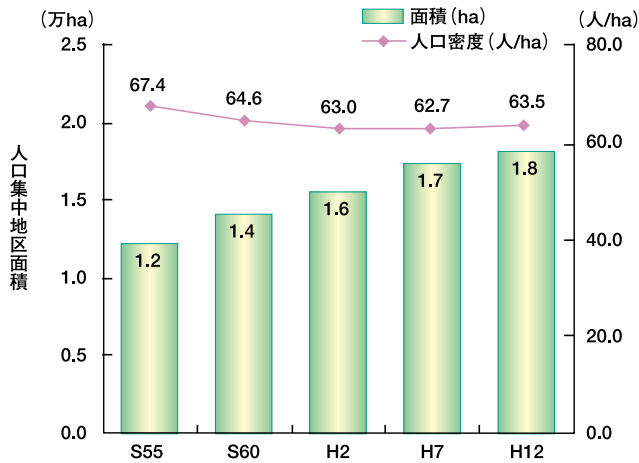


3 拡散する市街地

仙台都市圏の市街地は、人口や都市活動の成長に伴い年々拡大してきていますが、既存市街地から郊外への機能移転や郊外地域での新たな市街地開発等により、総じて密度が低い拡散市街地の様相を強めています。

低密度で拡大する市街地

人口集中地区の面積は約1.8万haで年々増加していますが、人口密度は年々低下し、低密度市街地が拡大しています。平成7年から12年にかけて密度が若干上昇しており、人口密度の下げ止まりの傾向がうかがわれます。



■図 人口集中地区の面積と人口密度の推移

出典 国勢調査

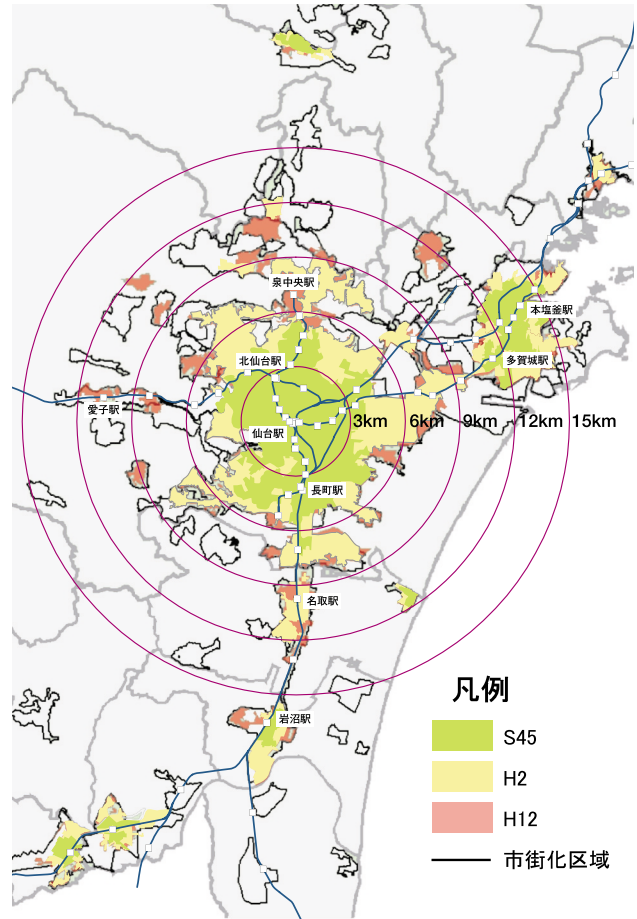


図 人口集中地区の広がり推移

出典 国勢調査

ドーナツ化する地域人口

都心から3km内では夜間人口、従業人口がともに減少し、6km以遠では大きく増加するなど、人口のドーナツ化が進行しています。

鉄道駅1km内外では鉄道駅1km圏外での人口増加がより大きいです。

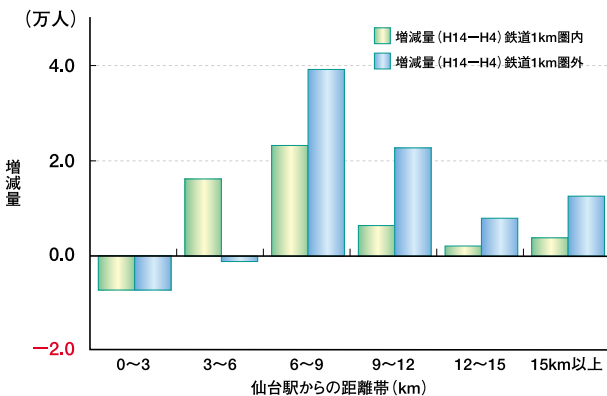


図 仙台都心からの距離帯別夜間人口の増減

出典 各市町村別人口統計データ

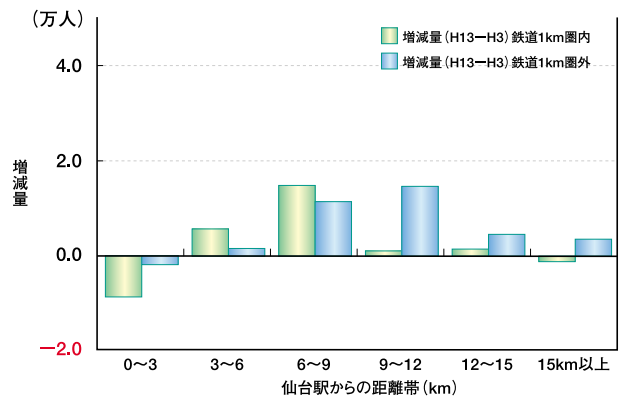


図 仙台都心からの距離帯別従業人口の増減

出典 事業所・企業統計調査